

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

1年 保健体育科「器械運動（マット運動）」

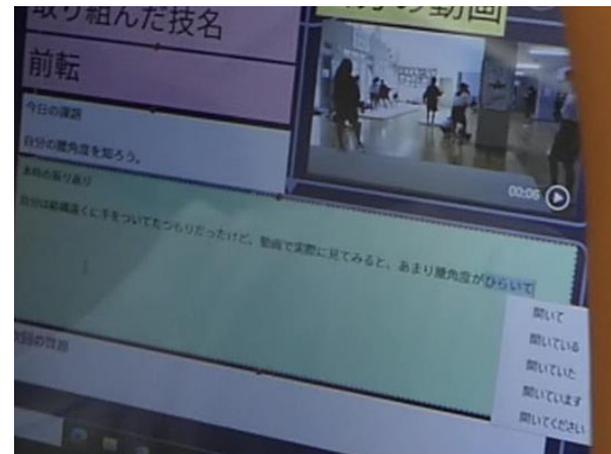
1人1台端末のカメラ機能を活用して、互いの動きを撮影しました。撮影した動画を確認したり、気付いたことを伝え合ったりして、修正ポイントを明確にして繰り返し練習しました。



ペアの動きを撮影



撮影した動画を確認



振り返りシートに気付いたことを書き込み

【活動の様子と成果】

前転の動きをペアで撮影し合ったり、撮影した動画を見て気付いたことを伝え合ったりしました。撮影した動きを見て、動きの中では気付けないことを客観的に確認したり、気付いたことをペアで伝え合ったりすることで、修正ポイントを明確にして練習する姿が見られました。学習の振り返りでは、今後、重点的に練習するポイントを振り返りシートに書き込みました。動画を活用したことにより、自分の動きの問題点を明確にして、次時の学習の見通しをもつことができました。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

名古屋市立吉根中学校

【取組内容】 情報活用能力の育成

2年 社会科「日本の近代化と国際社会」

様々な資料を基に日本が開国したことによるメリット・デメリットを調べました。集めた情報を整理し、開国したことが正しい判断だったのかどうかをグループで話し合いました。最後に判断した結果と理由を発表しました。



教科書や資料集、
インターネットを使って情報収集



クラウド上の情報を見ながら
グループで話し合い



話し合った内容を発表

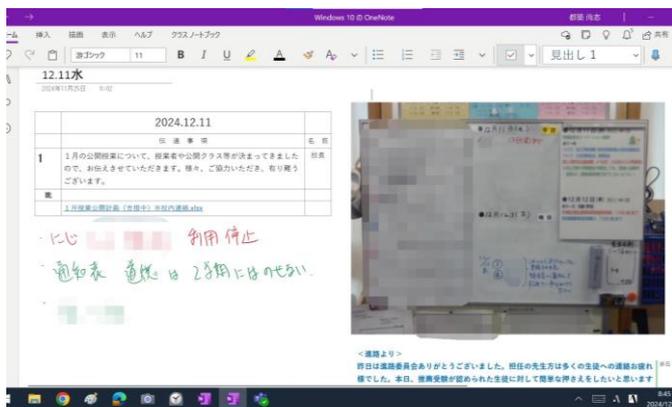
【活動の様子と成果】

開国したことが日本にどのような影響を与えたかを分析するために、教科書や資料集、インターネットを使って開国に関する情報を収集しました。クラウド上のホワイトボードソフトを使って、集めた情報を整理しながらグループで話し合い活動を行いました。最後に、グループで話し合った内容を発表して、全体でも共有しました。

【取組内容】校務DX

朝の打ち合わせで活用

吉根中学校では、校務でも指導者用端末を活用しています。Microsoft TeamsとMicrosoft OneNoteを活用して朝の連絡事項の共有をしています。



打ち合わせ内容が書かれた
OneNote



打ち合わせ内容を共有



指導者用端末を見ながら
生徒に伝達

【活動の様子と成果】

TeamsとOneNoteで学校全体の連絡と各学年の連絡を合わせて共有し、朝の打ち合わせ内容の一元化を進めました。学年主任が全職員向けの連絡と職員室にある学年ホワイトボードの画像をOneNoteに貼り付け、それを学年職員に配信し、配信したページを基に朝の打ち合わせを行います。学級担任は、必要に応じてタッチペンでメモを加え、そのページを見ながら学級で連絡事項を生徒に伝達します。OneNote上ですべての連絡を共有することによって、伝達漏れを防いだり、必要に応じて後から確認することもできたりして、校務の効率化につながっています。

【GIGA×情活能力】 国語科における情報活用能力

3年 国語科「俳句の味わい」

自分のお気に入りの俳句について鑑賞文を書くために、俳句に込められた作者の心情や背景について、作者の生い立ちや言葉に込められた意味などを検索したり、友達と意見交流したりしながら想像を膨らませました。



教師からの課題の詳細を確認

作者の生涯を検索して
俳句に込められた思いを想像俳句に込められた
思いについて意見交流

【活動の様子と成果】

お気に入りの俳句について調べる指示を簡単に出すとともに、教師があらかじめ用意しておいた課題シートをクラウドで配信しました。生徒は課題の詳細を確認しながら、初発の感想を書いた後、俳句で使われている言葉の意味や作者の生涯を調べ、俳句に込められた思いを想像しました。また、自分の考えを友達と意見交流し、より想像を膨らませました。必要に応じて、インターネットを使って情報を収集したり、友達と意見交流したりして、より正確な情報を効果的に活用することができました。

【GIGA×指導の工夫・改善】個々の進度に合わせた活用

2年 技術・家庭科（家庭分野） 「生活を豊かにするために」

ミシンやアイロンの使い方を身に付けるために、トートバッグの製作に取り組みました。クラウド上の動画教材や資料を見ながら、一人一人の進度に合わせてポイントを確認しながら製作に取り組みました。



カメラで教師の手元を映して
アイロンの使い方を確認



1人1台端末でトートバッグの袋口を
縫うときのポイントを確認



製作のポイントの教え合い

【活動の様子と成果】

最初に指導者用端末のカメラ機能を使って教師の手元を映してアイロンの使い方を確認しました。個別に製作を進める場面では、1人1台端末を見ながらミシンの使い方のポイントを確認したり、トートバッグの袋口を縫うときのポイントを確認したりしました。また、クラウド上のポイントとなる縫い方の動画教材や資料を使って、製作のポイントを教え合う生徒もいました。クラウド上に動画教材や資料を用意し、それらを一人一人がそれぞれの進度に合わせて活用したことにより、主体的にトートバッグの製作を進めることができました。

【GIGA×中・理科】 クラウドを活用した共同編集

2年 理科「植物の体のつくりとはたらき」

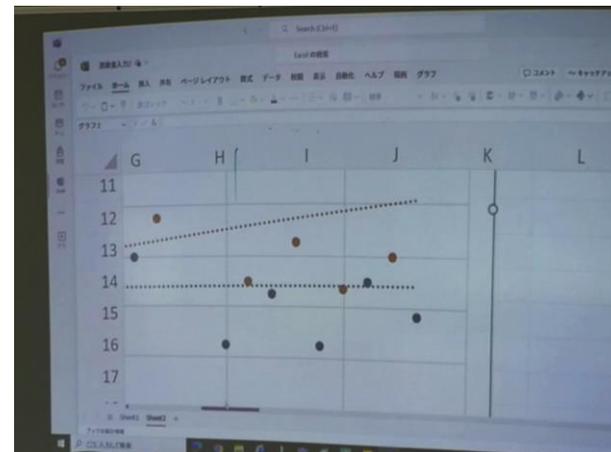
葉の表と裏の蒸散量の違いを調べるために、測定した葉の面積や葉の表と裏の蒸散量をMicrosoft Teams上のExcelファイルで共有しながら、学級全体で蒸散量と葉の面積の関係を表とグラフにまとめました。



画像の面積計測ツールを使って
面積の測定

	面積	表からの蒸散量	裏からの蒸散量
1班	35.13	80	
2班	5.27	70	40
3班	15.46	6	120
4班	18.11		6.5
5班	15.45	95	70
6班	13.90	90	35
7班	7.27	130	140
8班	26.7	2.5	10.5
		115	195

班ごとに葉の面積と表と裏からの
蒸散量を入力



【活動の様子と成果】

教師が用意した「画像の面積計測ツール」を使って葉の面積の測定をしました。葉の表と裏の蒸散量の測定値と葉の面積をMicrosoft Teams上のExcelシートに入力しました。各班の結果をクラウド上で共有しながらグラフ化して結果をまとめたことにより、どの生徒も葉の裏の方が表よりも蒸散量が多いことに気付くことができました。

＜校務利用＞ ① 理科の教材作成における活用

2年 理科「植物の体のつくりとはたらき」

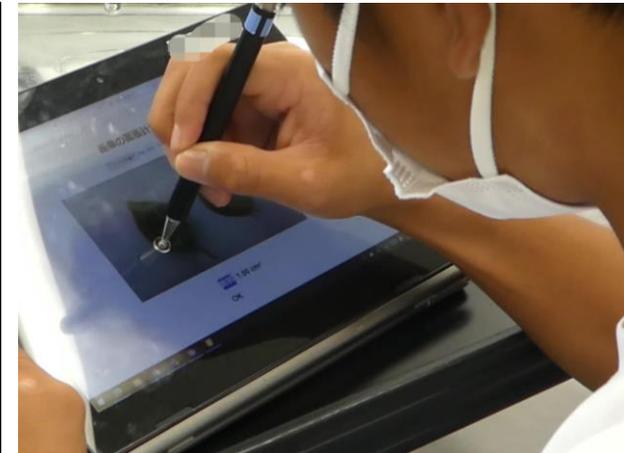
生成AIを活用して、葉の面積を測定するための「画像の面積計測ツール」を作成しました。作成した「画像の面積計測ツール」を活用して葉の面積を計測し、葉の面積と蒸散量の関係を表とグラフにまとめました。



生成AIにプロンプト（命令文）を入力



生成AIにより出力されたプログラムをたたき台にツールを作成



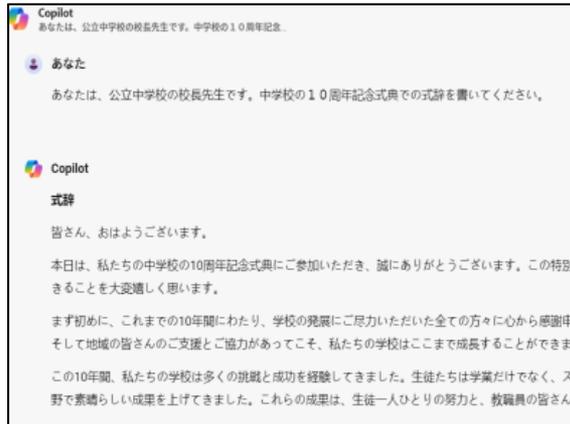
「画像の面積計測ツール」を使って面積を測定

【活動の様子と成果】

教師が授業の準備として、生成AI（Microsoft365 Copilot Chat）を活用して「画像の面積計測ツール」を作成しました。一から作成すると知識も時間も必要ですが、生成AIにプロンプト（命令文）を入力することで、短い時間で測定ツールのプログラムを出力させることができ、それをたたき台に短時間で測定ツールを作成することができました。生徒は、教師が作成した測定ツールを使って、葉の面積を計測することができました。生成AIを活用することで、短時間で難しいプログラムを組むことができ、教師の業務の効率化につながりました。

＜校務利用＞ ② 校長式辞のたたき台の作成

校長も生成A I を活用しています。開校10周年記念式典の校長式辞のたたき台を出力させ、そのたたき台を基に式辞の原稿を完成させました。



プロンプト（命令文）を入力して
たたき台を出力



生成A I が作成した原稿を基にした
校長式辞

【活動の様子と成果】

校長が開校10周年記念式典の校長式辞のたたき台を出力させ、式辞の原稿を作成しました。

生成A I（Microsoft365 Copilot Chat）にプロンプト（命令文）を入力することで、短い時間で式辞のたたき台を出力させることができ、たたき台を基に校長の思いを加えて原稿を完成させました。生成A I を活用することで、校長の業務の効率化につながりました。

<教育利用> ① 動画教材を活用して生成A Iについて学ぶ

学活「生成A Iについて学ぼう」

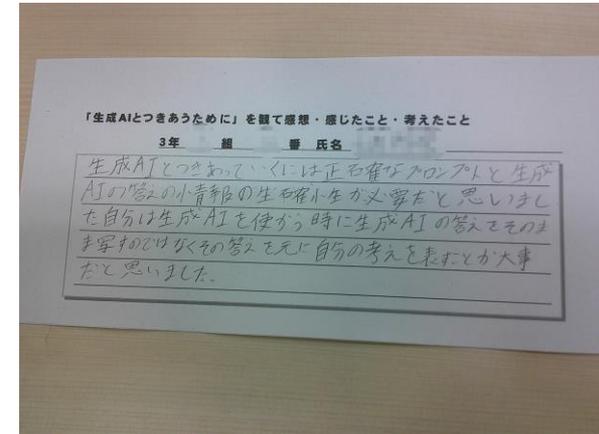
生徒が生成A Iを使った学習活動に取り組む前に、動画教材を使って生成A Iについて理解する活動を行いました。生成A Iの仕組みや活用方法、活用時の注意事項などを学んだ後、それぞれが感じたことや考えたことをまとめました。



動画教材を視聴



感想を記入



視聴した後の生徒の感想

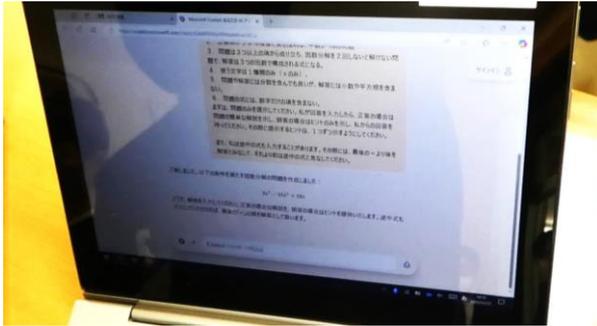
【活動の様子と成果】

生徒が生成A Iについて理解するために、生成A Iに関する動画教材を視聴しました。生成A Iの仕組みを知った後、活用方法や活用するにあたって気を付けなければいけないことを学びました。感想を記入する場面では、「生成A Iの回答をそのまま写すのではなく、自分の考えを表すことが大切である」と使う上で気を付けることを記述することができました。

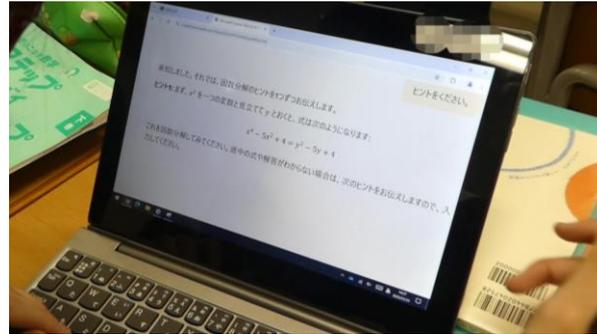
＜教育利用＞ ③ 生成A Iを使った個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

3年 数学科「生成A Iを使って」

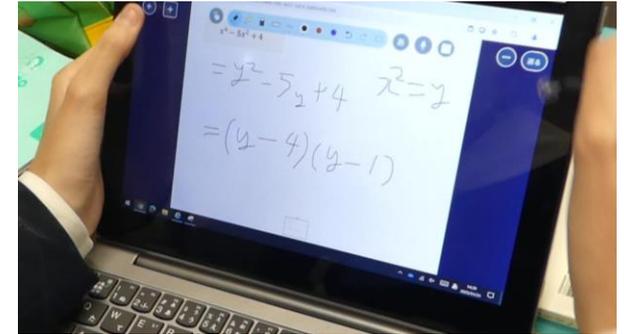
生成A I (Microsoft365 Copilot Chat) に“高等学校の入試問題を作成する数学科の教師”という役割を与え、因数分解の問題を作成しました。プロンプトの条件を変更して自分が希望するレベルの問題を作成したり、生成A Iに問題のヒントを尋ねたりしながら、主体的に因数分解の問題に取り組みました。



因数分解の問題を生成



生成A Iにヒントを聞く



ヒントを基に問題に取り組む

【活動の様子と成果】

生成A Iを活用して因数分解の問題を作成しました。生徒は、教師が示したプロンプトの例を貼り付けて、条件の一部を生徒が工夫しながら変更していきました。問題のレベルを変えたり、問題の精度をさらに上げたりして、問題を作成しました。また、作成された問題を解いていく中で、生成A Iにヒントを尋ねながら、粘り強く取り組む姿も見られました。生成A Iを活用したことにより、どの生徒も自分の理解度に合わせた因数分解の問題を作成し、主体的に問題解決に取り組むことができました。

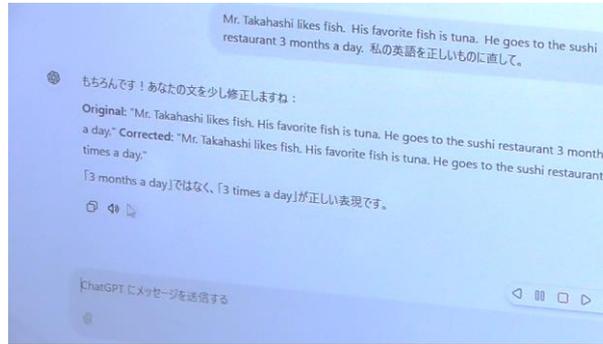
＜教育利用＞ ③ 生成A Iを活用した英会話学習

1年 英語科「Small Talk! 2」

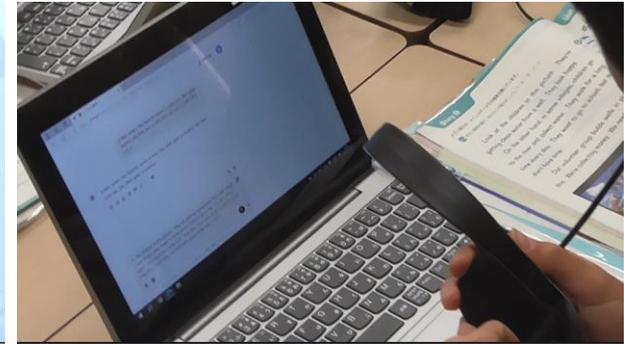
生成A I（ChatGPT）を活用した英会話に取り組みました。プロンプトを入力し、中学1年生のレベルに合わせた生成A Iとのフリートークをしたり、自分が入力した英文を生成A Iに添削させたりしながら、英会話の学習に楽しく取り組みました。



生成AIを相手に音声入力でフリートーク



聞き取った英文を入力して添削



音声入力を使った音読練習

【活動の様子と成果】

初めに、中学1年生程度のレベルに合わせたプロンプトを設定し、生成A Iを相手に英語でフリートークを行いました。次に、自分の好きなテーマを一つ選んでペアの友達と英会話を行いました。聞き取った内容を生成A Iに入力して添削してもらったり、より良い表現の提案を受けたりしながら、友達との英会話を楽しみました。最後に、教科書の内容を生成A Iに音声入力し、文章を見て正しく発音できたか確認したり、入力した内容からクイズを生成したりしました。生成A Iを活用することで、間違いを気にせず繰り返し英会話練習に取り組んだり、有意義なフィードバックを積極的に受けたりすることができました。